

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



夜空を彩る夏の風物詩 (7月26日 成羽川河原)

300年の歴史と伝統を誇る「復興第57回 備中名物成羽愛宕大花火」が行われ、多くの観客でにぎわいました。

延長400mの大銀滝、NHK大河ドラマ「篤姫」や北京オリンピックをイメージした絵柄など中四国最大規模の仕掛け花火12景や、打ち上げ花火2000発が夜空を彩りました。

また、河川敷に設けられた舞台では備中神楽も奉納されました。



夏は土曜夜市

(7月5日・12日成羽町本丁、7月12日備中町平川)

「本丁土曜夜市」(成羽町)と「平川土曜夜市」(備中町)が開かれました。

本丁では、商店街青年団有志のほか地域住民や吉備国際大学の学生の出店、鮮やかな手さばきのマジックショーなどもあり、成羽の夏の夜の恒例行事として大いに盛り上がりました。



また平川では、地区の皆さんが中心となって、たこ焼きやカレーライスなどの食べ物の夜店をはじめ、クワガタが当たる射的やドジョウすくいもあり、訪れた家族連れらは夏の夜のひと時を楽しんでいました。



水しぶきを上げ力泳 (7月31日 高梁市民プール)

「第30回倉敷管内高梁地区学童水泳記録会(第32回高梁市学童水泳記録会)」が開かれ、自由形、平泳ぎ、リレーの18競技に、標準記録を突破した市内19校282人の児童が出場。友だちや家族らの声援を受けながら、日ごろの練習の成果を発揮して力いっぱい泳いでいました。

方谷の足跡をたずねて (7月17日 藩校有終館跡ほか)

「備中高梁体験学習観光」の本年度の第1弾ツアーが行われました。今回は、幕末に備中松山藩の藩政改革を成し遂げた山田方谷(1805～1877)ゆかりの地を巡る日帰りプラン。県内外から参加した17人が、藩校有終館跡や方谷園などを見学し、武家屋敷・旧埴原家では方谷に関する講義も受けました。

この事業は、生涯学習の要素を取り入れた新しい観光スタイルとして、産学官連携で平成18年度から実施しているもので、8月28日(木)には市内の近代化遺産を巡るツアーが行われます。



みんなで楽しく子育てを学ぼう (7月10日 川上児童館)

川上地域では毎週木曜日、「子育てサロンゆーほー」を開催し、育児相談や学習会を行っています。

この日は、子育て支援センターによる「出前保育サロン」が行われ、集まった12組25人の親子は、新聞紙でけん玉を作って遊ぶなど交流を深めました。

今後も地域の家庭教育推進の一環として、さまざまな「子育て・親育ち講座」を計画しています。

平和への誓い新たに (8月6日 高梁総合福祉センター)

「原爆被爆死没者慰霊祭並びに平和祈念祭」が「原爆の日」の8月6日に行われました。参列者は黙とうを捧げ、花や折り鶴で飾られた祭壇に献花。「原爆を許すまじ」を合唱して、犠牲者の冥福と世界の恒久平和を祈りました。



100歳おめでとうございます (8月1日 高鳥重子さん自宅<上谷町>)

7月31日に100歳(明治41年生まれ)の誕生日を迎えられた高鳥重子さんを市長らが訪問し、長寿を祝って記念品や花束がご家族に贈られました。市内で100歳以上の人は8月1日現在で26人(男性5人、女性21人)。

今月の 表紙

夏のひととき ～広兼邸にて～

厳しい暑さが続く今年の夏は、外を歩けば、照り付ける日差しが痛いほどに感じられます。

市内では、夏休みを利用した家族連れらの観光客を見かけるようになりました。広兼邸(成羽町中野)には、県外ナンバーの観光客も多く訪れています。外の日差しの暑さと対照的な邸内のひんやりとした空気は、訪れた人にひとときの安らぎを与えています。